



夢に向かって全員が主人公、
希望がかなう津島北高校

主権者教育ワークショップを受講しました！

ワークショップテーマ：「廃棄物処理ゲームを通して責任ある市民を育てよう！」

講師：福山女学園大学 教育学部 子ども発達学科 教授 山田 真紀 先生

※廃棄物処理ゲームとは

廃棄物の不法投棄問題をトランプゲームで再現。5～8人のグループで実施。
各プレイヤーはごみを排出する工場の社長として、廃棄物を処理する。
その際、有害廃棄物は費用の高い適正処理か、費用のかからない不法投棄かの選択をする。
プレイヤーは、不法投棄の問題に対処し、資金をできるだけ多く残すことが求められる。



<生徒感想>

このゲームを通して、皆が自分の利益を優先することで結果的に全員にとって不利益な結果となる「社会的ジレンマ」という言葉を知りました。自分の利益を優先したいという気持ちはどんな人にもあると思いますが、社会のことに興味を持つとともに、周りへの影響を考えたうえで行動することが必要だということを改めて感じました。

また、若者の投票率の低下により、私たちの生活が不利益となっている現状を知り、投票に行こうと思いました。一人の力は微々たるものかもしれませんが、少しでも社会が豊かになるように、政治にも興味を持って、大切な1票を投票したいと思います。